

知 事 謹 話

天皇皇后両陛下におかれましては、来る3月26日（火）奈良県に行幸啓になります。本日、宮内庁からその御日程が発表されました。

このたびの行幸啓は「神武天皇山陵に親謁の儀」につき、本県にお出ましになるものです。本県へのお出ましは、平成28年4月の神武天皇二千六百年式年祭の儀山陵の儀につき、併せて本県の事情を御視察いただいて以来、およそ3年ぶりとなり大変光栄なことで深く感謝いたすところでございます。

御存知のとおり、奈良県は古来より皇室と極めてゆかりのある土地柄であり、天皇陛下の御即位に際しましては、平成2年12月に「即位礼及び大嘗祭後神武天皇山陵に親謁の儀」のため皇后陛下と御一緒に御来県を賜りました。当時、県民による奉祝ムードが最高潮となった2日間の御様子が華々しく報道されております。

このたびの「神武天皇山陵に親謁の儀」は、退位の礼に係る諸儀式のうちの一つです。天皇陛下が象徴たる天皇の位を退かれる大きな節目であることから、御来県の日を心からお待ち申し上げます。

御在位30年の間、我が国では経済不況や災害など、幾多の困難な局面もございましたが、天皇皇后両陛下におかれましては、常に国の安寧と国民の幸福を願われ、殊に地方行幸啓の折りには、御訪問先の施設や被災地において人々を温かく励ましていただいております。

本年4月末をもって御退位になられますが、これからも皇后陛下と共に御健康で、国民を見守ってくださることを心からお祈り申し上げます。

平成31年3月4日

奈良県知事 荒 井 正 吾